

WHAT

フランス・ブレイズパスカル大学

文教育学部 言語文化学科
仏語圏言語文化コース 4年
川上真結子

私はフランスの中央に位置するオーベルニュ地方にあるクレルモン＝フェランという町のブレイズ＝パスカル大学へと留学しました。周りを山に囲まれており、自然が溢れる小さな町です。ミシュランやボルビック、火山などが有名です。私も留学をするまではクレルモン＝フェランという町の名前を知らませんでした。パリではないフランスの落ち着いた田舎町での暮らしを体感してみたい、日本人の少ない環境で学んでみたいという思いからこの大学を選びました。日本人の留学生は、お茶大からしか派遣されていなかったため、その分色々な国の友達と仲良くなることができました。

大学では、美術史を専攻していました。前期は語学力に自信がなかったため、大学の授業を聴講させてもらいながら夜は週に2日、5時間ほど語学学校に通っていました。ヨーロッパ圏外の留学生向けに語学のクラスは開講されておらず、自分で追加料金を払って授業を受けていました。後期は、現地の学生と同じように授業と試験を受けました。語学学校にも引き続き通いました。大学の授業や試験は日本よりも厳しい印象を受けました。授業はとても難しかったのですが、フランスを中心にヨーロッパやアメリカの美術のことを非常に詳しく学ぶことができ、勉強になりました。図書館も美術関係の本が充実しており、よく利用していました。生徒も勉強熱心で図書館の自習スペースも常に満員でした。試験に関しては、3時間フランス語での論述試験であったため、大変苦労しました。評価も留学生だからといって甘くしてくれるわけではなく、厳しく採点しているようでした。また、留学生向けに開講されていた英語での授業も履修していましたが、フランス語を勉強し

ているのだから英語を話せるのは当たり前、といった雰囲気でもこちらが発言するのになかなか苦労しました。しかし、苦労した分これからの勉強に生かせることをたくさん学ぶことができましたと思います。大学の授業は、講義形式のものを受講していたので、なかなか現地の学生とコンタクトをとれる機会を見つけ出せずにいました。しかし、寮に住んでいたため、共用のキッチンなどで出会った学生と仲良くなり、宿題を見てもらったりしてフランス語を勉強することができました。また、他の国からの留学生の友達もたくさんできました。

語学が思うように伸びず、悔しい思いをすることがたくさんありました。しかし、親切な人々に恵まれ、日本とは全く異なる様々な文化を吸収することができ、一生忘れることのできない素敵な10ヶ月間になりました。更に留学を通じて、思考がとても前向きになったように感じます。留学で学んできたことをこの先の人生でも生かしていけたらと思います。

